



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 キッツ
 コード番号 6498 URL <https://www.kitz.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 河野 誠
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートファイナンス本部長 (氏名) 別所 研一 TEL 03-5568-9260
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	46,625	11.7	3,697	9.4	4,193	4.9	3,657	26.5
2025年12月期第1四半期	41,740	3.8	3,378	20.1	3,996	19.6	2,890	15.3

（注）包括利益 2026年12月期第1四半期 4,764百万円（－％） 2025年12月期第1四半期 197百万円（△95.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	42.06	—
2025年12月期第1四半期	33.25	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年12月期第1四半期	191,569	121,657	62.6	1,380.42
2025年12月期	184,325	119,790	64.1	1,358.57

（参考）自己資本 2026年12月期第1四半期 119,993百万円 2025年12月期 118,157百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	21.00	—	32.00	53.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	29.00	—	30.00	59.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	94,200	9.1	8,000	0.8	8,250	△1.5	6,400	7.2	73.58
通期	195,000	10.4	17,000	10.0	17,400	8.3	12,700	10.8	146.02

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年12月期1Q	87,565,611株	2025年12月期	87,565,611株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	640,625株	2025年12月期	593,738株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年12月期1Q	86,948,443株	2025年12月期1Q	86,930,625株

(注) 当社は、「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数に含めております。(2026年12月期1Q 297,046株、2025年12月期 297,046株)

また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数 (四半期累計) の計算において控除する自己株式に含めております。(2026年12月期1Q 297,046株、2025年12月期1Q 297,046株)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2026年5月14日(木)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算補足説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(重要な後発事象の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、ロシア・ウクライナ戦争や中国不動産市場の低迷が継続するほか、米国・イスラエルのイランへの攻撃による緊迫化した中東情勢等の地政学リスクの高まり、それに伴うエネルギー資源・原材料の高騰及び供給不足懸念など先行き不透明な状況が続きました。国内経済においては、好調なインバウンド需要などは続いているものの、エネルギー資源・原材料の高騰や為替影響による物価上昇が続き厳しい状況が継続しました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間は、バルブ事業において価格改定効果や為替影響のほか、半導体装置向けの需要拡大等により増収となりました。また、メタルソリューション事業においても銅相場の上昇等により増収となった結果、売上高の総額は前年同期比11.7%増の466億25百万円となりました。

損益面では、営業利益は、バルブ事業において海外市場向けの販売量の減少や原材料・部材の高騰のほか、M&Aによる取得関連費用の計上等により減益となるものの、メタルソリューション事業において銅相場上昇による値幅を確保できたことにより、前年同期比9.4%増の36億97百万円となりました。経常利益は、前年同期比4.9%増の41億93百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、米国子会社における旧日本社売却による有形固定資産売却益を計上したことにより、前年同期比26.5%増の36億57百万円となりました。

なお、2026年1月1日より、「伸銅品事業」から「メタルソリューション事業」にセグメント名称を変更しております。当該変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

① バルブ事業

バルブ事業の外部売上高は、価格改定効果や為替影響のほか、半導体装置向けの需要拡大等により、前年同期比9.8%増の365億30百万円となりました。営業利益は、海外市場向けの販売量の減少や原材料・部材の高騰のほか、M&Aによる取得関連費用の計上等により、前年同期比3.0%減の42億55百万円となりました。

② メタルソリューション事業

メタルソリューション事業の外部売上高は、銅相場の上昇等により、前年同期比20.1%増の95億71百万円となりました。営業利益は、銅相場上昇による値幅を確保できたこと等により、前年同期比383.6%増の5億92百万円となりました。

③ その他

その他の外部売上高は、前年同期比1.9%増の5億23百万円となり、営業損失は、46百万円の営業損失（前年同期は60百万円の営業損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、棚卸資産や現金及び預金、売上債権の増加等により、前連結会計年度末に比べ72億43百万円増加し1,915億69百万円となりました。

負債につきましては、賞与引当金の減少等はありませんでしたが、短期借入金や仕入債務の増加等により、前連結会計年度末に比べ53億76百万円増加し699億11百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払いはありませんでしたが、親会社株主に帰属する四半期純利益36億57百万円の計上や為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ18億66百万円増加し1,216億57百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ11億99百万円増の292億53百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益54億42百万円、減価償却費18億65百万円となったほか、仕入債務の増加21億71百万円等により、棚卸資産の増加26億58百万円、法人税等の支払20億24百万円、賞与引当金の減少17億7百万円等はありませんでしたが、営業活動によるキャッシュ・フローは18億38百万円の資金の増加(前年同期は16億58百万円の増加)となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

バルブ事業を中心に有形固定資産の取得による支出12億8百万円等を行ったほか、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出10億15百万円等により、有形固定資産の売却による収入13億44百万円等はありませんでしたが、投資活動によるキャッシュ・フローは12億59百万円の資金の減少(前年同期は14億94百万円の減少)となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入金の純増39億99百万円等により、配当金の支払27億92百万円、長期借入金の返済による支出6億6百万円等はありませんでしたが、財務活動によるキャッシュ・フローは4億78百万円の資金の増加(前年同期は25億30百万円の減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2026年2月12日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

なお、現下の中東情勢による当期連結業績に与える影響については、現在精査中であります。また株式会社ブイテックスの子会社化による影響についても、現在精査中であり、現時点で連結業績予想に織り込んでおりません。今後業績予想に修正が必要と判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,239	29,447
受取手形、売掛金及び契約資産	24,102	26,719
電子記録債権	12,539	10,864
商品及び製品	17,601	18,948
仕掛品	9,061	10,805
原材料及び貯蔵品	15,318	15,839
その他	3,499	4,110
貸倒引当金	△81	△85
流動資産合計	110,281	116,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,455	20,389
機械装置及び運搬具（純額）	18,480	18,514
土地	10,003	9,941
その他（純額）	12,626	12,526
有形固定資産合計	61,566	61,371
無形固定資産		
のれん	—	473
その他	2,167	2,344
無形固定資産合計	2,167	2,817
投資その他の資産	10,310	10,730
固定資産合計	74,044	74,918
資産合計	184,325	191,569

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,927	12,412
1年内償還予定の社債	135	67
短期借入金	568	4,799
1年内返済予定の長期借入金	2,616	2,624
未払法人税等	2,475	1,977
賞与引当金	3,358	1,653
役員賞与引当金	268	54
その他	7,882	9,485
流動負債合計	27,232	33,076
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	10,573	10,045
役員退職慰労引当金	254	248
役員株式給付引当金	158	166
退職給付に係る負債	866	874
資産除去債務	1,135	1,150
その他	4,313	4,349
固定負債合計	37,302	36,834
負債合計	64,535	69,911
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,207	21,207
資本剰余金	5,740	5,758
利益剰余金	77,668	78,533
自己株式	△497	△597
株主資本合計	104,119	104,901
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,837	2,060
為替換算調整勘定	11,877	12,722
退職給付に係る調整累計額	323	308
その他の包括利益累計額合計	14,038	15,091
非支配株主持分	1,633	1,664
純資産合計	119,790	121,657
負債純資産合計	184,325	191,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	41,740	46,625
売上原価	30,987	34,703
売上総利益	10,753	11,921
販売費及び一般管理費	7,375	8,224
営業利益	3,378	3,697
営業外収益		
受取利息	60	51
受取配当金	32	28
為替差益	23	60
助成金収入	126	306
その他	525	224
営業外収益合計	769	671
営業外費用		
支払利息	63	107
その他	88	67
営業外費用合計	151	175
経常利益	3,996	4,193
特別利益		
有形固定資産売却益	3	1,253
投資有価証券売却益	268	—
その他	0	0
特別利益合計	272	1,254
特別損失		
有形固定資産除売却損	19	4
その他	0	0
特別損失合計	20	4
税金等調整前四半期純利益	4,247	5,442
法人税等	1,311	1,701
四半期純利益	2,936	3,741
非支配株主に帰属する四半期純利益	45	84
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,890	3,657

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	2,936	3,741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△242	222
為替換算調整勘定	△2,491	814
退職給付に係る調整額	△4	△14
その他の包括利益合計	△2,739	1,022
四半期包括利益	197	4,764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	225	4,710
非支配株主に係る四半期包括利益	△27	53

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,247	5,442
減価償却費	1,648	1,865
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,732	△1,707
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	15	4
受取利息及び受取配当金	△93	△80
支払利息	63	107
有形固定資産除売却損益 (△は益)	15	△1,249
投資有価証券売却損益 (△は益)	△268	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	399	△558
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,362	△2,658
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△146	△513
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,391	2,171
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	853	1,309
その他	△406	△211
小計	3,624	3,921
利息及び配当金の受取額	99	80
利息の支払額	△90	△139
法人税等の支払額	△1,975	△2,024
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,658	1,838
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,744	△1,208
有形固定資産の売却による収入	6	1,344
無形固定資産の取得による支出	△146	△271
投資有価証券の取得による支出	△2	△1
投資有価証券の売却による収入	348	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,015
その他	43	△105
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,494	△1,259
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△41	3,999
長期借入れによる収入	10,000	56
長期借入金の返済による支出	△250	△606
社債の償還による支出	△10,067	△67
配当金の支払額	△2,356	△2,792
自己株式の取得による支出	△107	△100
その他	293	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,530	478
現金及び現金同等物に係る換算差額	△924	141
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,291	1,199
現金及び現金同等物の期首残高	30,440	28,054
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,149	29,253

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法を採用しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	バルブ 事業	メタルソリューション事業	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高					
外部顧客への売上高	33,260	7,966	513	—	41,740
セグメント間の内部売上高 又は振替高	54	635	17	△706	—
計	33,314	8,601	530	△706	41,740
セグメント利益又は損失 (△)	4,386	122	△60	△1,070	3,378

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル及びレストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,070百万円には、セグメント間取引消去△11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,058百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の本社の人財部、総務部、経理財務統括部及び経営企画部等の発生費用で、本社ビルの管理費用を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	バルブ 事業	メタルソリュー ション事業	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高					
外部顧客への売上高	36,530	9,571	523	—	46,625
セグメント間の内部売上高 又は振替高	106	751	18	△876	—
計	36,637	10,322	542	△876	46,625
セグメント利益又は損失 (△)	4,255	592	△46	△1,105	3,697

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ホテル及びレストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,105百万円には、セグメント間取引消去△26百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,079百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の本社の人財部、総務部、経理財務統括部及び経営企画部等の発生費用で、本社ビルの管理費用を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2026年1月1日より、「伸銅品事業」から「メタルソリューション事業」にセグメント名称を変更しております。当該変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の名称で記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象の注記)

(資金の借入)

当社は、2026年5月13日開催の取締役会において、株式会社ブイテックスの株式取得資金及び同社への貸付資金等を目的として資金の借入を以下の通り決議いたしました。なお、当該資金は、長期の資金への借り換えを実施する予定であります。

(1)	借入先	株式会社みずほ銀行
(2)	借入金額	15,000百万円(予定)
(3)	借入金利	変動金利(基準金利+スプレッド)
(4)	借入実行日	2026年5月25日(予定)
(5)	借入期間	3ヵ月(予定)
(6)	担保等の有無	無